

小地域展

# 岡の歴史と文化

会期 3月9日(土) ~ 5月12日(日)

休館日 毎週月曜日・祝日の翌日(ただし祝日に重なる場合は開館)  
(3/11,18,21,25 4/1,8,15,22,30 5/7が期間中の休館日)

【展示解説会】3月10日(日) 4月14日(日) 5月12日(日)  
いずれも14:00から



『豆腐百珍』(部分)

○目川田樂<sup>めがはのでんがく</sup>

岡村の土人茶店を構へ豆腐の田樂を製す、

『近江與地誌略』より

## 栗東歴史民俗博物館

〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8 TEL 077-554-2733/FAX 077-554-2755

URL <https://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

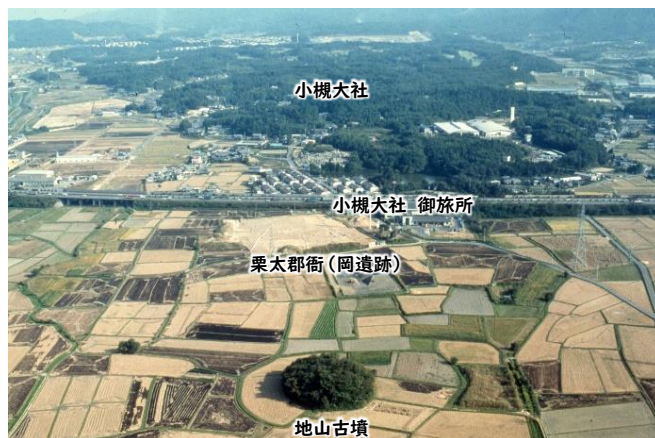
## 小地域展

# 岡の歴史と文化

栗東市の西端、草津市に接して位置する大字岡地区。ここは、古代栗太郡の中心地、栗太郡衙（栗太郡の役所）が置かれた地域です。栗太郡衙跡に近接して地山古墳があり、郡衙を見下ろす丘陵地には、郡衙の長官である郡司を務めた小槻山君の祖先神を祀る小槻大社（栗東市下戸山）が控え、長い歴史を感じさせます。

現在の岡地区の成り立ちは、東海道との関係を置いては考えられません。現在の東海道の前身となった古代東海道もルートは確定していませんが、岡地区内を通過していたと考えられており、集落形成に影響を与えたと考えられます。

現在の東海道が整備された江戸時代には、行き交う人を相手に商売をする岡の村人もあられます。特に岡から生まれた田楽豆腐は“目川（女川）田楽”として日本中に名物として知れ渡りました。名物に足を止める人々からは文化や情報をもたらされました。画家、岡笠山として活躍した目川田楽茶屋 元伊勢屋の主人、岡野五左衛門も、こうした環境に影響を受けたことでしょう。この展覧会では、このような豊かな歴史と文化を有する、岡地区について特集し紹介します。



名神高速道路を挟んで、大字下戸山の小槻大社、大字岡の栗太郡衙（岡遺跡）、地山古墳が並ぶ風景、御旅所も見える



岡地区が当番を担って、小槻大社の例祭で奉納する花笠踊り（国重要無形民俗文化財 小杖祭りの祭礼芸能）、岡地区は岡から移住したと伝わる下戸山の宮ヶ尻地域の住民とともに祭りを催行する。



岡の目川田楽茶屋に掲げられた講看板（個人蔵）



岡の目川田楽茶屋、小島屋に伝わった湯飲み（館蔵）